



## 3年生 ままごとハウス寄贈 ～高校生サンタから園児たちへの贈り物～

12月23日(火) 京丹後市久美浜にある「こうりゅうにじこども園」へままごとハウスを寄贈しました。

3年生学びコースの生徒10名が4月から製作し、完成させたものです。寄贈日がクリスマス直前ということもあり、大きなクリスマスプレゼントに園児たちはとても喜んでくれました。

設置後は、園児たちと触れ合う時間もあり生徒たちにとっても有意義な時間となりました。最後には園児たちから歌とダンスのプレゼントもありました。

3年間で培った技術の集大成として取り組んだ成果が、こうして多くの人に喜んでもらえる結果となりました。

これからも建築科では様々な製作物を通して地域に貢献していきたいです。



## 3年生 吉津小前バス待合所の現地作業・寄贈

建築科3年生匠コースの生徒が、宮津市須津の吉津小学校前に設置されているバス待合所を新たに製作し、2月19日(木)に現地作業を行いました。この取組は、地元地域の方や小学生が利用するバス待合所が老朽化していることに伴い、宮津市から製作依頼がありました。

小学生と高校生がテーマやデザインについての意見交換を行い、それをもとに4人の生徒がデザインを提案しました。デザイン提案したものを2学期から製作し始め、今回現地での設置作業となりました。

設置作業は、晴れていたものの風の寒い日の中でしたが、生徒たち一人ひとり作業を分担しながら行っていました。トラブルもある中でしたが、予定していた作業まで終えることができました。

後日、デザインを担当した生徒と教員で仕上げ作業を行いました。内壁には漆喰塗りを施し、小学生が集めた貝殻を張り付けたデザインとなっています。

小学生や地元の方が親しみ、夏の日差しや冬の雪、寒さを和らげるバス待合所として、多くの方に利用していただきたいです。



## 3年生 峰山駅カウンターテーブル寄贈

峰山駅開業100周年記念事業実行委員会から峰山駅待合所に置くカウンターテーブル3台の製作依頼があり、建築科3年生4名が1月から放課後の時間等を使って製作しました。テーブルのデザインは、側面に格子があり、内側にちりめんを張っています。また、格子の下の側板はレーザ加工機で猫の足跡状にくり抜いたデザインとなっています。

2月22日(日)峰山駅2階待合所にて、開業100周年記念事業実行委員会主催で寄贈式が行われました。

寄贈式には、こまねこまつり実行委員会の方も出席され、ちりめんで作った座布団が寄贈されました。また、今回テーブルに使用したちりめんはこまねこまつり実行委員会の会員の方が染めや織り加工等されたもので、こまねこの模様がデザインされたものを使っています。

今回、カウンターテーブルを製作した高校生は、多くの方に喜んでいただけたことに嬉しさと達成感を感じていました。今回の取組を通して得た技術などを、卒業後の進路にも活かしてもらいたいです。



## 建築通信5号 (Web特別版)

4号の紙面だけでは紹介しきれない建築科の取組・活動等をWEB限定の特別版です。右の二次元コードから御覧ください。



## 2年生 左官実習 ～左官のプロが魅せる匠の技～

2月26日（木） 2年生対象の左官実習を実施しました。

京都左官協同組合から3名の講師をお招きし、左官の歴史や土壁の魅力等についての座学と実際に土壁を塗る体験をさせていただきました。全員が初めて経験する作業のため始めは苦戦する様子も見られましたが、講師の方々の丁寧な指導のおかげで徐々にうまく壁に塗れるようになりました。

自分が経験することで職人さんのすごさを改めて実感でき、貴重な経験となりました。



## 1年生 現場見学 ～建設現場での仕事を見学・体験～

12月5日（金） 建築科1年生が小西川河川改修工事の現場見学に行きました。生徒たちは4班に分かれて、施工現場の見学や実際にWEBカメラを用いた遠隔監視体験、現場共有体験、AR3D測量体験等を行いました。当日はあいにくの天候でしたが、生徒たちは現場で使用されている最新技術に驚きを感じていました。

☆生徒の感想☆

- ・最近現場のデータなどはICTが主流になっていると知りました。また、360度カメラがすごいと思いました。そのカメラで撮った映像を現場に行かなくても詳しく様々な角度で状況を見れるのはとても便利だと思いました。
- ・騒音や振動などをデータ化するなどの周りの配慮は工事において当たり前くらい重要であると知りました。
- ・現場の方々の工事への熱量が感じられ、こんな風に将来仕事をしたいと思えました。この機会を糧にこれからの授業も頑張りたいと思います。



## 小学生建築デザイン展 ～小学生の力作並ぶ～

本校建築科 建築研究部が主催する小学生建築デザイン展の今年度のテーマ「あったらいいな“ゆめのパビリオン”」として、宮津・与謝管内の小学校から74点の作品の応募があり、どの作品も夢のある素晴らしい力作ばかりでした。

2月6日（金）～7日（土）に宮津市民体育館で行われた「天橋芸術祭2025」の中で、高校生の作品と一緒に小学生の作品を展示し、7日（土）に同会場で表彰式を行いました。

後援団体の京都府建設業協会 副会長 安田 浩一様、宮津建設業協会 会長 井戸本 勝典様、京都府建築士会宮津支部 副支部長 井上 真哉様にお越しいただき、出席された25名の入賞者に賞状と記念品を贈呈していただきました。

昨年度から宮津建設業協会様による「特別賞」が設けられ、最優秀賞の中から選ばれた1名に賞状と記念品が贈呈されました。

